

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)			
事務事業名	森林環境保全整備事業	事業番号	11557	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-7 林業の振興
	施策目標	森林を守り育て森林資源を活用するまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	森林の持つ多面的機能の発揮のための総合的な森林整備(植栽・下刈・間伐など)	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	森林整備計画に基づく森林整備を行うことにより、水源涵養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの機能を将来にわたって持続的に発揮させる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	森林施業(植栽・下刈・間伐など)実施回数	8回	6回	6回	6回			10回	10回
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H29予算		H29決算		H30予算		
			12,654		11,745		15,587		
内訳	国道支出金		8,802		7,808		8,200		
	地方債								
	その他		184		152				
	一般財源		3,668		3,785		7,387		
人員(人工)			0.50		0.50		0.50		
職員人件費(=人員(人工)× 7,696 千円)			3,848		3,848		3,848		
総事業費(=事業費+職員人件費)			16,502		15,593		19,435		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			2,750		2,598				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	森林は多様な機能を有し、公益的な役割を担っていることから市民ニーズは高いと考える。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	森林整備計画に基づく総合的な森林整備を実施することにより、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することができる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 市有林を対象とした事業であるため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 根室市森林整備計画に基づく事業であるため。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 北海道が定める造林事業標準単価を用いて適切に実施している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 森林整備計画に基づき、市有林を対象とした事業であるため。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 市有林を対象とした事業であるため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)			
事務事業名	市民の森整備事業	事業番号	11942	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-7 林業の振興
	施策目標	森林を守り育て森林資源を活用するまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①市民の森の整備(遊歩道・植樹帯の整備) ②植樹祭の開催	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	①多くの市民の森林に親しむ機会の増大を図り、健康づくりの面での森林利用を促進する。 ②緑化思想の高揚、森林が有する多面的機能を利用した森林環境教育・健康づくりを促進する。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	植樹祭年間参加者数	200人	150人	200人	130人			200人	200人
2	市民の森への年間植樹本数	250本	220本	310本	210本			250本	250本
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H29予算		H29決算		H30予算	
				3,018		2,753		3,018	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			239		300		239	
	一般財源			2,779		2,453		2,779	
人員(人工)				0.17		0.17		0.50	
職員人件費(=人員(人工)× 7,696 千円)				1,308		1,308		3,848	
総事業費(=事業費+職員人件費)				4,326		4,061		6,866	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				33		31			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				20		19			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	植樹祭における植栽苗木の活着率を向上させるため、地拵え・幹ガード設置の対策を継続実施。
今後の動向・市民ニーズなど	近年、木育の観点から森林に関する注目度が増しており、その効果・役割の重要性が再認識されている。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	市民の憩いの場として、また、緑化思想の高揚など森林ならではの特徴が発揮されている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 「根室市市民の森条例」に基づき、市が主体となり森林を適切に維持・管理することが必要である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 市民の森の利用促進及び市民協働での森林づくりについて検討が必要である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 市民ボランティア団体等との協働による森林づくりの実施。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 「根室市森林整備計画」及び「根室市市民の森条例」に基づいた整備・管理であるため。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 「根室市市民の森条例」により、使用料は無料となっている。ただし、市民の森を占有して使用する際(物品の販売、募金その他これらに類した行為をする際・興行・集会、競技会その他これらに類する行為を行う際)については、規則で定めるところにより使用料を徴収することとなっている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☒ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

平成30年6月